



未来医療センター便り

2003 年冬
VOL. 2

未来医療センターは・・・

未来医療センターは大阪大学医学部附属病院に設置された中央診療部門です。研究活動の中で発見・開発されようとしているアイデアを、これまで想像できなかった画期的な治療法として世に発信するために、臨床研究プロジェクトの有効性、安全性、経済性などについて分析を行っています。

最近の未来医療センターの動き

11 月 19 日 未来医療臨床研究の開始。

「虚血性視神経症に対する経角膜電気刺激を用いた神経保護治療」におきまして、1 例目の患者様の治療が行われました。

12 月 1 日 未来医療センターの H.P.を開設しました。ぜひ、アクセスして下さい。

<http://www.med.osaka-u.ac.jp/pub/hp-mctr/index.html>

次回、審査・評価委員会開催予定日は、1 月 27 日（火）14：00～です。

カルテにシールを貼付します！

未来医療臨床研究を施行するにあたり、研究への登録から終了までの間、被験者様のカルテにシールを貼付させていただくことになりました。また、ファイルも挟ませていただきますので宜しくお願いします。



←こんなシールです。

特許相談室（医学）のご案内

生命科学・生命工学関連の特許相談室を開催し研究成果の特許化や保有特許の有効活用など発明・特許に関する教官及び学生の皆様の相談を無料で受け付けます。

ご相談したい案件のある方は月曜日の午前中までに、ホームページ

<http://www.crcast.osaka-u.ac.jp/tokkyo/>の所定の様式でご連絡の上、奮って参加願います。

場所：未来医療センター

対象：教官及び学生

開催日：2004 年 1 月 14 日（水）14：00～16：00

2004 年 2 月 12 日（木）14：00～16：00

2004 年 3 月 19 日（水）14：00～16：00

相談者：大阪 TLO 阪大事業部門 担当コーディネータ 特許主任調査員 納 寿一郎 氏

関西 TLO 株式会社 特許流通アドバイザー 斎田 雄一 氏



未来医療臨床研究プロジェクト

「虚血性視神経症に対する経角膜電気刺激を用いた神経保護治療」(眼科)の進捗状況

眼科は未来医療センター内で、治療を行っています。
登録患者様は、2名です(2003年12月現在)。



治療の様子



{研究要約}

眼科では、従来の治療で改善しない虚血性視神経症の患者様に対して、網膜神経節細胞の生存率を向上させる新しい治療法を、未来医療のプロジェクトとして提案しています。

前臨床試験では、コンタクトレンズ型の電極で経角膜的に網膜を電気刺激すると、網膜神経節細胞の細胞死が抑制されることがわかっています。この事は、視神経は神経節細胞が基となっているので、難治性視神経疾患(現在は有効な治療法が無く、視力低下を避けることができません。)において、視力低下の抑制あるいは視力の回復が期待できると考えられます。更に本法は、安全性の面で優れていること、また外来処置室で行うことが可能な低侵襲の治療法であるため、患者様への負担も軽いというメリットがあります。

本臨床研究でこの治療法の有効性が証明されれば、有効な治療法のない他の視神経疾患への応用も可能と考えています。

工事のため、騒音などご迷惑をおかけします!!

未来医療センター内の工事が始まります。外来棟の皆様には特にご迷惑をおかけすることになります。誠に申し訳ございません。2004年3月末には完成予定ですので、しばらくご辛抱ください。尚、工事終了直後に再度、センターの見学会を予定しております。



臨床研究プロジェクトの募集

未来医療センターではトランスレーショナルリサーチのプロジェクトを広く募集しています。医学倫理委員会の承認を受けていることを前提としますが、まずはお気軽にご相談下さい。

相談窓口：トランスレーショナル・リサーチ・コーディネーター 三宅まで

アドレス：miyake@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp



大阪大学医学部附属病院 未来医療センター
〒565-0871 吹田市山田丘2番15号
TEL : 06 (6879) 6551
FAX : 06 (6879) 6549

